

日野川地区水道用水供給事業 王子保浄水場（仮称）土木施設工事 その1工事の請負契約に係る一般競争入札に参加する者に必要な資格については、建設工事の請負契約等に係る競争入札の参加者の資格等（平成10年福井県告示第749号）の規定は適用せず、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の5第1項の規定に基づき、別にこの工事の請負契約に係る一般競争入札に参加する者に必要な資格を定めたので、同条第2項の規定により、その基本となるべき事項および当該資格の審査の申請の時期、方法等を次のとおり公示する。

平成16年8月23日

福井県知事 西川 一 誠

1 一般競争入札に付する事項

(1) 工事名

日野川地区水道用水供給事業 王子保浄水場（仮称）土木施設工事 その1工事

(2) 工事場所

福井県武生市大塩町地係

(3) 工事概要

浄水場土木施設 1式 (給水量 51,900m<sup>3</sup>/日)

取水流量計室、沈砂池兼粉末活性炭接触池、導水ポンプ井、マンガン接触塔(基礎)、着水井・混和池・フロック形成池・膜供給ポンプ井、共同溝、各施設躯体内付属配管および場内配管

2 この工事の請負契約に係る一般競争入札に参加する者に必要な資格（以下「特定建設工事入札参加資格」という。）の審査を申請することができる者

特定建設工事入札参加資格の審査を申請することができる者は、次の条件をすべて満たす共同企業体とする。

(1) この工事を共同して請け負うことを目的として、福井県内に営業所（建設業法（昭和24年法律第100号。以下「法」という。）第3条第1項の営業所をいう。）を有する2の建設業者（法第2条第3項に規定する建設業者をいう。以下同じ。）により結成された共同企業体であること。ただし、1以上の建設業者が福井県内に主たる営業所（法第3条第1項の営業所のうち同項の許可に係る営業所をいう。）を有する者であること。

(2) 共同企業体の構成員は、次の要件をすべて満たしていること。

ア 特定建設工事共同企業体入札参加資格審査申請書（以下「申請書」という。）の提出期間の末日において福井県の競争入札参加資格について土木一式工事A等級の資格を有すると決定されている者であること（会社更生法（昭和27年法律第172号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者または民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、福井県が別に定める手続きに基づく競争入札参加資格の再認定を受けていること。）

イ 申請書の提出期間の末日において、法第3条第1項の許可を受けてから3年以上継続して建設業を営んでいること。

ウ この工事の請負契約に係る一般競争入札に参加しようとする他の共同企業体の構成員でないこと。

エ 共同企業体への出資の比率が30パーセント以上であること。

オ 申請書の提出期間の末日において、「福井県工事等契約に係る指名停止等の処置要領」に基づく指名停止または指名除外期間中でないこと。

カ 申請書の提出期間の末日において、建設業退職金共済制度、中小企業退職金共済制度、特定退職金共済制度のいずれかに加入していること。または退職一時金制度を有していること。

キ 申請書の提出期間の末日において、会社更生法に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者または民事再生法に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（2（2）アの再認定を受けた者を除く。）でないこと。その他経営不振に陥ったと明らかに認められる等この入札に参加するのにふさわしくないと認められる者でないこと。

ク 法第26条第1項に規定する主任技術者または同条第2項および第4項に規定する監理技術者（以下「監理技術者等」という。）で国家資格を有する者をこの工事の現場に専任で配置することができること。監理技術者にあつては、監理技術者資格者証および監理技術者講習修了証またはこれと同等の資格を有する者であること。ただし、この工事に関する入札公告において定める基準を満たしている者であること。

（3） 共同企業体の構成員のうち代表者は、次の要件をすべて満たしていること。

ア 共同企業体への出資の比率が構成員中最大であること。

イ この工事に関する入札公告において定める工事实績を有する者であること。

### 3 特定建設工事入札参加資格の審査の申請手続

特定建設工事入札参加資格の審査を受けようとする者は、次により申請すること。

（1） 提出書類

ア 申請書

イ 経営規模等総括表

ウ 共同企業体の構成員の経営事項審査結果通知書（経営事項審査（法第27条の23第1項の審査で、平成13年10月1日から平成14年9月30日までの間の日を当該審査の基準日とするものに限る。）の結果についての公益法人に係る改革を推進するための国土交通省関係法律の整備に関する法律（平成15年法律第96条）による改正前の法第27条の27第1項の規定による通知の文書をいう。）の写し

エ 共同企業体協定書

オ 工事経歴書

カ 技術職員名簿

（2） 申請書等（3（1）アからカの提出書類をいう。以下同じ。）の交付期間等

ア 交付期間

平成16年8月23日（月）から同年9月2日（木）まで（福井県の休日を定める条例（平成元年福井県条例第2号）第1条に規定する県の休日（以下「休日」という。）を除く。）の午前9時から午後4時まで

イ 交付場所

福井県福井市大手3丁目17-1

福井県企業局経営管理課 総務調整グループ

（3） 提出書類の提出期間等

ア 提出期間

申請書等の交付期間と同じとする。

イ 提出場所

申請書等の交付場所と同じとする。

ウ 提出方法

持参して提出するものとし、郵送または電送によるものは受け付けない。

エ 提出部数

正 1 部      副 1 部

4 特定建設工事入札参加資格の有無および格付けの決定

特定建設工事入札参加資格の審査の申請をした者の特定建設工事入札参加資格の有無および格付けは、建設工事の請負契約等に係る競争入札の参加者の資格等(平成10年福井県告示第749号)の6の規定の例により決定するものとする。

なお、特定建設工事入札参加資格の有無および格付けを受けた者であっても、申請書提出後入札までに、共同企業体の構成員について指名停止または指名除外を受けた者等、この入札に参加するにふさわしくないと認められる場合には、特定建設工事入札参加資格および格付けの決定を取り消すことがある。

5 特定建設工事入札参加資格の有効期間

特定建設工事入札参加資格の有無および格付けの決定は、この工事の請負契約に係る一般競争入札についてのみ有効とし、この工事を落札した共同企業体についてはこの工事が完了し、当該企業体の清算が完了した日に、その他の共同企業体についてはこの工事の請負契約が締結された日に効力を失うものとする。

6 その他

特定建設工事入札参加資格の審査について不明な点があれば、福井県土木部土木管理課(電話 0776-20-0470)に照会すること。

(様式第1号)

# 特定建設工事共同企業体 入札参加資格審査申請書

福井県が発注する下記建設工事の競争入札に参加したいので、関係書類を添えて資格審査を申請  
します。

平成 年 月 日

福井県知事 西川 一誠 殿

(共同企業体の名称)

(代表者の住所、名称、氏名)

(共同して施工しようとする建設工事の概要)

工事の種類	土木一式工事
工事名	日野川地区水道用水供給事業 王子保浄水場(仮称) 土木施設工事その1工事
工事場所	福井県武生市大塩町地係

(様式第1号の2)

(構成員)

許可 番号	許可 年月日	商 号	代 表 者	住 所	印

## 経 営 規 模 等 総 括 表

経営事項審査対象工事種別

工事

の部分は記入しないこと

商号または名称		A	B	C	評価対象数値	数値	点数	評価
経営規模	直前2もしくは3年における工事 種類別平均完成工事高	千円	千円	千円	(A+B+C)=a 千円			X <sub>1</sub>
	直前2もしくは3年における 総平均完成工事高	千円	千円	千円	(A+B+C)=b 千円			
	自己資本額	千円	千円	千円	(A+B+C)=c 千円	c ÷ b × 1,000		
	建設業に従事する 職員数	人	人	人	(A+B+C)=d 千円	d ÷ b × 10,000,000		
	小 計						+	X <sub>2</sub>
経営状況分析評点					A,B,Cの平均			Y
技術力	工事種別 一級技術者数	人	人	人	(A+B+C)=e 人	e × 5		
	工事種別 二級技術者数	人	人	人	(A+B+C)=f 人	f × 2		
	工事種別 その他の技術者数	人	人	人	(A+B+C)=g 人	e × 1		
	小 計					+ +		Z
その他の審査項目 (社会性等)					A,B,Cの平均			W

(注) 「評点」の欄には記入しないでください。

$$\text{総合評点} = 0.35 \times \boxed{X_1} + 0.1 \times \boxed{X_2} + 0.2 \times \boxed{Y} + 0.2 \times \boxed{Z} + 0.15 \times \boxed{W} = \boxed{P}$$

(様式第3号)

## 工事経歴書

(建設工事の種類)

工事

企業名

発注者	単体または JV構成員 の区別	工事名	工事場所 のある都 道府県名	請負代金の額	着工年月	浄水場・ 下水処理場名	工事の施工 等に有した 特殊技術等
					竣工年月	給水・ 処理水量	
				千円	年 月		
					年 月	m <sup>3</sup> /日	
				千円	年 月		
					年 月	m <sup>3</sup> /日	
				千円	年 月		
					年 月	m <sup>3</sup> /日	
				千円	年 月		
					年 月	m <sup>3</sup> /日	

- 注 1 共同企業体の代表者について入札公告で定める実績を記入すること。
- 2 実績は、平成6年度以降に竣工した工事を記入すること。(実績数が多い場合には、最大のもの5傑でよい)
- 3 最も給水量の大きい工事については、それを証明する書類(契約書等)の写しを添付すること。  
なお 浄水場、コリズ工事カルテにて給水量1m<sup>3</sup>/S以下の施設については、給水量が明示された他の証明書も添付のこと。

(様式第4号)

## 技 術 職 員 名 簿

企業名	氏名	生年月日	有資格区分	監理技術者資格者証 交付番号

- 注 1 有資格区分には、1級土木施工管理技士等と記入すること。
- 2 免許証または合格証明書の写しを添付すること。
- 3 技術者の経験については、工事経歴書の注3と同様とする。



# 入 札 公 告

日野川地区水道用水供給事業 王子保浄水場（仮称）土木施設工事その1工事について、次のとおり一般競争入札を実施するので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6第1項の規定により、次のとおり公告する。

平成16年8月23日

福井県知事 西川 一 誠

## 記

### 1 一般競争入札に付する事項

- (1) 工 事 名 日野川地区水道用水供給事業 王子保浄水場（仮称） 土木施設工事その1工事
- (2) 工 事 場 所 福井県武生市大塩町地係
- (3) 工 事 概 要 浄水場土木施設 1式（給水量 51,900m<sup>3</sup>/日）  
取水流量計室、沈砂池兼粉末活性炭接触池、導水ポンプ井、マンガン接触塔（基礎）、着水井・混和池・フロック形成池・膜供給ポンプ井、共同溝、各施設躯体内付属配管および場内配管
- (4) 工 期 平成18年3月24日まで
- (5) 設 計 額 926,014,000 円  
（消費税および地方消費税相当分を除く。）

### 2 入札に参加する者に必要な資格

この入札に参加することができる者は、知事が行う資格審査により競争入札参加資格を有すると決定された共同企業体で、次の(1)から(4)に掲げる条件をすべて満たし、かつ、知事による当該工事に係る入札参加資格の確認（以下「確認」という。）を受けた者とする。

- (1) 福井県の競争入札参加資格土木一式工事A等級の資格を有すると決定された共同企業体であること。
- (2) 次のアからカの要件をすべて満たす2の建設業者（建設業法（昭和24年法律第100号。以下「法」という。）第2条第3項に規定する建設業者をいう。以下同じ。）により構成された共同企業体であること。

ア 入札参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）提出期間の末日において、福井県の競争入札参加資格について土木一式工事A等級の資格を有すると決定されている者であること（会社更生法（昭和27年法律第172号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者または民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、福井県が別に定める手続きに基づく競争入札参加資格の再認定を受けていること。）

イ 申請書の提出期間の末日において、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

ウ 申請書の提出期間の末日において、「福井県工事等契約に係る指名停止等の措置要領」に基づく指名停止または指名除外期間中でないこと。

エ 申請書の提出期間の末日において、建設業退職金共済制度、中小企業退職金共済制度、特定退職金共済制度のいずれかに加入していること。または、退職一時金制度を有している者であること。

オ 申請書の提出期間の末日において、会社更生法に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者または民事再生法に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（2（2）アの再認定を受けた者を除く。）でないこと。その他経営不振に陥ったと明らかに認められる等、この入札に参加するのにふさわしくないと認められる者でないこと。

カ 福井県内に営業所（法第3条第1項の営業所をいう。）を有する者であること。ただし、1以上の建設業者が福井県内に主たる営業所（法第3条第1項の営業所のうち、同項の許可に係る営業所をいう。）を有する者であること。

（3） 共同企業体の構成員のうち代表者は、平成6年度以降において、元請（共同企業体の場合は、当該共同企業体の代表者に限る。）として、次の条件を満たす構造物の建設工事を施工した実績を有する者であること。

ア 給水量（処理水量）が31,100m<sup>3</sup>/日以上浄水場または下水処理場の土木施設。

（4） 共同企業体の構成員は、次のアの条件を満たす法第26条第1項に規定する主任技術者または同条第2項および第4項に規定する監理技術者（以下「監理技術者等」という。）で、国家資格を有する者をこの工事の現場に専任で配置することができること。監理技術者にあつては、監理技術者資格者証および監理技術者講習修了証を有する者又はこれと同等の資格を有する者であること。ただし、監理技術者等のうち1人は、次のア、イのいずれの条件も満たす者であること。

ア 一級土木施工管理技士の資格を有する者であること。

イ 平成6年度以降において、監理技術者等として、2（3）に掲げる浄水場または下水処理場の土木施設工事を施工した経験を有する者であること。（現場代理人としての経験は不可）

### 3 資格の確認に関する事項

（1） 申請手続き等

この入札に参加を希望する者は、平成16年9月2日（木）までに、申請書（様式第1号）に入札参加資格確認資料（以下「資料」という。）を添付して提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

なお、期限までに申請書を提出しない者または確認を受けられなかった者は、この入札に参加することができない。

（2） 資格の確認の通知

確認は、共同企業体の代表者に対し、書面により通知する。

（3） 資料の作成要領

資料は、アについては様式第2号、イについては様式第3号により作成すること。

ア 2（3）に定める浄水場または下水処理場の土木施設工事を施工した実績

イ 配置予定の監理技術者等および現場代理人の資格、経歴、経験等

（4） 申請書および資料（以下「申請書等」という。）の提出期間等

ア 提出期間

平成16年8月23日（月）から同年9月2日（木）まで（福井県の休日を定める条例（平成元年福井県条例第2号）第1条に規定する県の休日（以下「休日」という。）を除く。）の午

前9時から午後4時まで

イ 提出場所

福井県福井市大手3丁目17-1  
福井県企業局経営管理課 総務調整グループ

ウ 提出方法

持参して提出するものとし、郵送または電送によるものは受け付けない。

エ 提出部数

正1部 副1部

(5) 資格の確認を受けられなかった者に対する理由の説明

ア 資格の確認を受けられなかった者は、書面により、その理由について説明を求めることができる。

イ アの説明を求める場合は、平成16年9月29日(水)午後4時までに、説明を求める旨を記載した書面を申請書等の提出場所に提出しなければならない。

ウ イの書面は持参して提出するものとし、郵送または電送によるものは受け付けない。

エ ウの書面の提出があったときは、県は、平成16年10月6日(水)までに、当該書面を提出した者に対し、書面により回答する。

4 図面等の配布に関する事項

この入札に参加しようとする者は、図面(概略)等の写しの配布を受けることができる。

(1) 配布期間

申請書等の提出期間と同じとする。

(2) 配布場所

申請書等の提出場所と同じとする。

(3) 設計図書の有償による交付

申請書等を提出した者は、申請書等の提出後、資格の確認を受けた場合に限り、有償でこの入札に係る工事の設計書および図面の全部の写しの配布を受けることができる。

(4) 図面等に関する質問

ア 図面等に関する質問がある場合は、質問事項を記載した書面を提出すること。

(ア) 提出期間

平成16年8月23日(月)から平成16年10月7日(木)まで(休日を除く。)の午前9時から午後4時まで

(イ) 提出場所

申請書等の提出場所と同じとする。

(ウ) 提出方法

持参または郵送によるものとし、電送によるものは受け付けない。

イ 県は、アの書面の提出があったときは、当該書面を提出した者に対し、書面により回答するものとする。なお、質問の内容については、次のとおり閲覧に供する。

(ア) 閲覧期間

平成16年8月23日(月)から同年10月12日(火)までの午前9時から午後4時まで

(イ) 閲覧場所

申請書等の提出場所と同じとする。

5 入札の執行の日時および場所ならびに入札書の提出に関する事項

(1) 入札日時

平成16年10月18日(月) 13時10分から

(2) 場所

福井県福井市大手3丁目17-1

福井県庁 6階 大会議室

(3) 提出方法

入札書は、入札の日時に入札の場所へ持参して提出するものとし、郵送、電報および電送による提出は認めない。

(4) その他

入札の参加に当たっては、3(2)による資格の確認の結果に係る通知書の写しを提示すること。

6 入札の方法等

(1) 落札の決定に当たっては、入札書に記載する金額に、当該金額の100分の5に相当する額を加算した金額(加算後の金額に1円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって契約金額とするので、入札参加者は、消費税および地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(2) 入札回数は、2回を限度とする。

7 工事費内訳書の提示

(1) 入札参加者は、第1回の入札に際し、第1回の入札に係る入札書に記載する金額に対応する工事費内訳書を提示しなければならない。

(2) 工事費内訳書には、数量、単価および金額を記載すること。

(3) 工事内訳書は、担当者が確認の後、返却する。

(4) 工事内訳書は、参考書類として提示を求めるものであり、この入札およびこの入札に係る契約上の権利義務を生じさせるものではない。

8 入札保証金および契約保証金に関する事項

入札保証金は見積もった契約希望金額(消費税および地方消費税を含む。)の100分の5以上、契約保証金は、契約金額(消費税および地方消費税を含む。)の100分の10以上とし、福井県財務規則(昭和39年福井県規則第11号)の規定により納付すること。

9 入札の無効に関する事項

福井県財務規則第151条に定めるほか、この入札に参加する者に必要な資格のない者、当該資格の有無に係る審査の申請において虚偽の申請を行った者ならびに現場説明書において示した条件に違反した者のした入札は無効とする。

なお、確認を受けた者であっても、申請書提出後入札までに、共同企業体の構成員について指名停止または指名除外を受けた者等、この入札に参加するのにふさわしくないと認められる者のした入札は無効とする。

10 落札者の決定方法

この入札に係る工事の予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格により工事を施工することとした場合において、当該価格ではこの入札に係る工事の契約の内容に適合した工事が行われないおそれがあると認められるとき、またはその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなる

おそれがある著しく不相当であると認められるときは、その者を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした他の者のうち、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とする。

1.1 契約書作成の要否  
要

1.2 契約条件

この入札に係る工事の契約は、別に提示する契約書案および福井県工事請負契約約款（平成8年福井県告示第436号）による。

1.3 配置予定技術者の確認に関する事項

本工事の落札者決定後、落札価格（入札書記載額に消費税および地方消費税を加えた額をいう。）が500万円以上となった場合は、契約前に3（3）イで申請された配置予定技術者について専任制等の確認を行う。この確認の結果、当該工事現場に技術者が適正に配置できない場合は、入札心得第14の規定に基づき、契約をしないことがある。

当該入札参加申請に当たっては、実際に配置を予定している技術者について申請すること。

1.4 支払条件

- （1） 請負代金は、平成16年度から平成17年度までの年度ごとに分割して支払う。
- （2） 前払金額は、別に定める範囲内の額とする。ただし、年割計算とする。

1.5 その他

- （1） 入札参加者は、工事入札心得、契約書案および福井県工事請負契約約款を熟読し、遵守すること。
- （2） その他不明な点については、福井県企業局経営管理課総務調整グループ（電話 0776-20-0545）に照会すること。

## 入札参加資格確認申請書

平成 年 月 日

福井県知事 西川 一誠 殿

共同企業体の名称

代 表 者

印

構 成 員

印

平成 年 月 日付けで入札公告のありました、日野川地区水道用水供給事業 王子保浄水場(仮称) 土木施設工事その1工事に係る入札に参加する資格の確認を受けたいので、下記の書類を添えて申請します。

なお、添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。

### 記

- 1 同種の工事の施工実績を記載した書面
- 2 配置予定の監理技術者等および現場代理人の資格、経歴、経験等を記載した書面

申請内容に関する照会先

会 社 名

担 当 部 署

担当者氏名

電 話 番 号

FAX 番 号

### 同種の工事の施工実績(例)

共同企業体名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

番号 項目			
工事名称等	工事名	工事	
	発注機関名	( 県 事務所等)	
	施工場所	(都道府県名、市町村名)	
	契約金額	(最終契約金額)	
	工期	平成 年 月 ~ 平成 年 月	
	受注形態等	単体/共同企業体(代表者・構成員の別、出資比率)	
工事概要等	浄水場・ 下水処理場名	〇〇川浄水場	
	給水・ 処理水量	50,000m <sup>3</sup> /日	
	土木施設名		

注1 公告2(3)の条件を確認できる施工実績について記入すること。

注2 コリンズの工事カルテまたは契約書の写し等、工事の施工実績が確認できる資料を添付すること。  
なお 浄水場の工事カルテにて給水量1m<sup>3</sup>/S以下の施設については、給水量が明示された他の証明書も添付のこと。

配置予定の監理技術者等および現場代理人の資格、経歴、経験等(例)

共同企業体名

氏名 項目		〇〇〇〇(監理技術者等:会社名)	〇〇〇〇(監理技術者等:会社名)	〇〇〇〇(現場代理人:会社名)
最終学歴		〇〇大学〇〇学科 〇〇年卒業		
法令による免許		一級土木施工管理技士(取得年および登録番号) 監理技術者資格(取得年および登録番号)		
工事名称等	工事名			
	発注機関			
	施工場所			
	契約金額			
	工期			
	従事役職			
工事概要等	浄水場・ 下水処理場名			
	給水・ 処理水量			

注1 現場代理人および公告2(4)の条件を確認できる監理技術者等について記入すること。  
なお 浄水場の給水量1m3/S以下の場合は、施工実績と同様とする。

注2 現場代理人および監理技術者等は、同一人が兼ねることができる。